

# 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立高部屋小学校
-----	-------------

## 1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることは概ねできている。</li> <li>・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことは、概ねできている。</li> <li>・自分の考えを伝えるためには、どのように資料を用いたらよいかについて理解することは概ねできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じ文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付けること。</li> <li>・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。</li> <li>・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件に合う時刻を求めることは概ねできている。</li> <li>・速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことは概ねできている。</li> <li>・棒グラフから数量を読み込むことや、項目間の関係を読み取ることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形の面積の求め方について理解すること。</li> <li>・複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述すること。</li> <li>・小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適応して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述すること。</li> </ul>
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日同じくらいの時間に寝て、起きる児童が多い。</li> <li>・人の役に立つ人間になりたいと思う児童が多い。</li> <li>・友達と協力するのは楽しいと思う児童が多い。</li> <li>・自分でやるときめたことは、やり遂げようとする児童が多い。</li> <li>・いじめは、どんな理由があってもいけないという意識が高い。</li> <li>・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大で学校が休校していた期間中、勉強について不安に感じていた児童がかなり多くいること。</li> <li>・「学校に行くのは楽しいと思うか」について、否定的な回答をしている児童が少なからずいること。</li> <li>・自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことについて、一部の児童は自信をもていないこと。</li> </ul>

### 2① 授業の充実に向けた重点的な取組

付けたい力を明確にした授業づくりと学習評価の一体化を図っていく。

【国語】 文の中における主語と述語の関係、修飾語と被修飾語の関係について、確実な定着を目指していく必要がある。そのために優れた文章表現に慣れ親しむ機会を継続的に作っていく。また、効果的な文の構成を考え、目的や意図を伝える対象を意識し、漢字を正しく使って書くことができるようにするために、授業の活動のねらいを明確に伝えるように取り組んでいく。

【算数】 図形の面積の求め方など確実な定着を図るために、繰り返し学習など効果的に取り入れていく必要がある。また、データの活用などの統計教育の課題が見受けられるので、表やグラフの読み取りなどにとどまらず、目的に応じて必要な情報を読み取る力を高める指導を充実していく。

### 2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

・質問紙調査では、「人の役に立つ人間になりたい」、「いじめはどんな理由があってもいけない」という意識が高いことが伺えました。また、国語や算数の問題に最後まで解答を書こうと努力する傾向がみられました。本校の児童は素直で真面目な子が多く、朝食を毎日食べたり、就寝や起床時間がほぼ決まっていたりするなど、生活習慣が整っている児童が多いことが分かりました。児童が学校生活に落ち着いて取り組むことができるのも家庭や地域で子どもを見守り、健やかな成長を支えていただいているからです。たくさんのご協力に感謝申し上げます。

・新型コロナウイルス感染拡大で、学校が休校期間中、勉強に不安を感じている児童がかなり多くいました。学校に行くのが楽しいと感じられない児童が少なからずいることや、友達と協力することは楽しいと感じても、自分のよいところを見付けられない児童がいることを重く受け止めています。引き続き家庭や地域と学校が連携し、それぞれの役割を果たしていくことができれば幸いです。